

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 大動脈弁狭窄症患者における経カテーテル動脈弁留置術前後での認知機能の変化

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 大滝美空（リハビリテーション部・理学療法士）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

目的：大動脈弁狭窄症患者に対して経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）前後での認知機能の変化があるかを明らかにすることを目的としています。

方法：診療記録を用いた後ろ向き観察研究です。

研究期間：実施承認日から2023年3月31日までです。

■ 対象となる患者さん

2020年2月1日から2021年10月31日までに当院の心臓血管外科に入院し、大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）を行った方の中で、TAVI前後に認知機能検査を行った方が対象です。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、病歴（過去1年以内の入院歴）、血圧、心拍数、心不全の重症度（NYHA機能分類）、入院前居住場所（自宅/施設）、同居家族（独居/夫婦/その他）、基礎疾患、併存疾患、血液検査結果、心臓超音波検査結果、フレイル（虚弱）の有無、SPPB（身体機能）、握力、MMSE（認知機能）、入院経過（離床状況、院内ICU在院日数、在院日数）、日常生活活動能力等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

大滝美空（リハビリテーション部・理学療法士）

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971